

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

上板町立松島小学校（徳島県）

【取組内容】 学習アプリを活用し、他者参照を取り入れた授業実践

A screenshot of a learning application interface. It displays a grid of 20 columns and 4 rows of response boxes. Each box contains a small icon, a name, and a response. The interface is designed for sharing and comparing student answers.学習アプリで
回答の共有

児童の回答を共有
して児童同士で確
認することができます。



GIGA端末を使って他者参照

児童は、それぞれの端末から他の児童の思考過程を見ることができ、自己と比べたり、参考にしたりと深い学びにつながっています。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立松島小学校（徳島県）

【取組内容】 本校のGIGA環境に沿った情報活用能力の育成

本校での使用頻度が高い学習アプリにおけるスキルやアプリ内で作成したカードを活用したプレゼンテーション力など6項目でICTスキル習得体系表を作成し、学校で足並みをそろえた体系的な指導を行いました。また、年度初めと年度終わりにスキル調査によって情報活用能力のスキルの部分を確認しています。

松島小学校ICTスキル習得体系表

分類	1年	2年	3年	4年	5年	6年
カード	カードを作った文字を手書きで入力できる。 カードをつなげて送ったり、提出したりすることができる。	カードを見やすいように文字の大きさや太さに気をつけて作成することができる。	を使って話し合い活動のまとめを作ることができる。	カードを見やすいように文字の大きさや太さ、色に気をつけて作成することができる。	カードを見やすいように縦書きや横書きを用いて作成することができる。	カードを見やすいように縦書きや横書きを用いて作成することができる。
写真・動画	自分で写真を撮影してカードにすることができる。 自分の演奏や舞姿を録音することができる。	写真にカードを追加したり、書き書き込みしたりすることで説明や紹介ができる。	写真・動画とカードを組み合わせて、伝えたいことをまとめることができる。	動画を必要な長さに合わせて編集することができる。	動画をスローモーションで編集することができる。	写真や動画を適切なファイル形式で書き出すことができる。
文字入力	ローマ字を見てキーの読み方と位置を見る。	ローマ字を見てホームポジションから正しい指使いでタイピングすることができる。	キーボードを使って大文字、小文字、全半角、漢字を含む文字を入力することができる。	正しい指使いで80wpm、正タイプ率80%を達成することができる。	正しい指使いで100wpm、正タイプ率85%を達成することができる。	正しい指使いで120wpm、正タイプ率90%を達成することができる。
分類整理力	カードやイラストを教師が設定したジャンルや項目によって分類することができる。	教職員が設定したシンキングツールを使って自分が入力したカードを分類することができる。	シンキングツールを自分で選び、分類の拠点を表記し、分類することができる。	教師の指示に沿って様々なシンキングツールの使い方に慣れ、思考スキルとシンキングツールの対応を理解する。	教職員が提示した思考スキルからシンキングツールを用いて自分の考えを分類整理できる。	学習のめあてに沿った思考スキルを考えて、自分で選択したシンキングツールを用いて自分の考えを分類整理できる。
プレゼンテーション力	自分の作ったカード（絵や写真）の内容を説明することができる。	自分の作ったカード（絵や写真）を発表者ツールを使って画面で説明することができる。	自分で描いた絵や自分で撮った写真を文字を入力したものをつなげて発表することができる。	自分がインターネットで収集してきた情報を文字の数や写真の枚数に気をつけて、見やすいカードにまとめて発表することができる。	自分がアンケートやテストで収集してきた情報をカードにまとめ、発表することができる。	自分が収集してきた情報を分かりやすい文字数で図や写真、グラフを用いてカードにまとめ、発表することができる。
情報収集力	教職員のサポートを受けながら、インターネットで自分の必要とするイラストや写真をコピーしてノートに貼ることができる。	自分でインターネットから必要とするイラストや写真をコピーしてノートに貼ることができる。	自分が必要な情報をインターネットで検索し、Webページからカードへコピー＆ペーストをすることができる。	自分が必要な情報をインターネットで検索し、書いてある内容から抜粋や要約をしてカードを作成することができる。	アンケートやテストを使って情報を収集することができる。	アンケートやテストを使って情報を収集し、グラフにすることができる。

学習アプリ

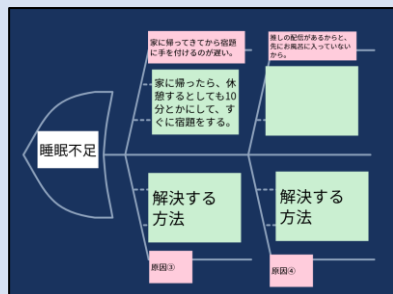
ICT
スキル
調査情報活用能力の
知識・技能に
あたるスキルを
調査しています。

① シャリンと動画をつけて自分のじこしょうかいカードをつくってください。（5分）

名前

○ すきな食べもの シャリン ○ すきなわけ どうが

③ インターネットから「梅雨」という言葉のいみをさがして、ここにはってください。（5分）

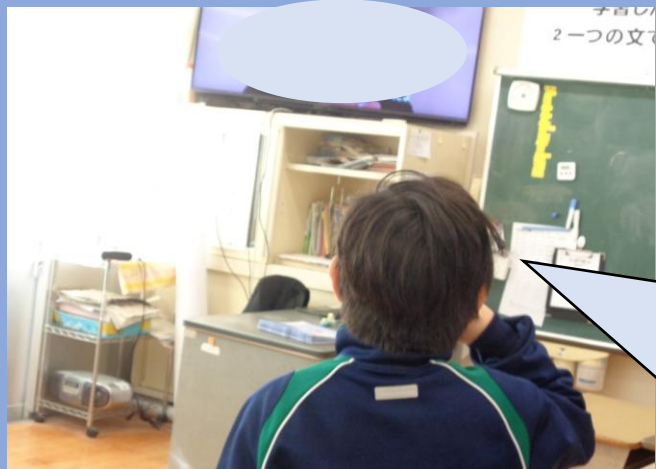
情報モラルについて
考えようSNSでつながる楽しさ
安全な活用方法

朝の時間を使って、ICT担当の教員と一緒にGIGA端末を活用したシンキングツールの使い方や新しいアプリ、モラル教育といった内容について学習しています。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

上板町立松島小学校（徳島県）

【取組内容】 GIGA環境を活用した保健指導

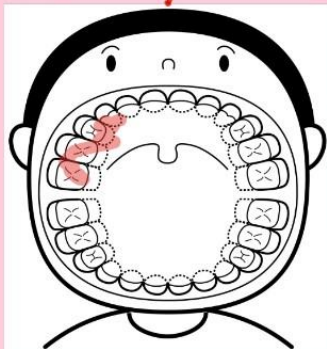


給食後の歯みがきは、クラス全員で歯みがきの動画を画面で見ながら行います。みがく位置を画面で確認したり、音楽に合わせてみがくので部分ごとに入念にみがくことができます。

1年

なまえ

はみがきテストで、○をしよう。



よく
みがけている。

すこし
みがきのこしがある。

あまり
みがけていない。

歯みがき教室などの歯科指導では、みがき残しの位置や振り返りをGIGA端末で行うことで、児童はスムーズに記録することができます。また、経年変化を記録しておけることで、児童自身が自分の変化に気付くことができます。さらに、教員は一覧で確認することができます。指導も円滑に行うことができます。



上板町では、感情ケア・ソリューションを用いて、児童の感情を可視化し、分析、統計できるようにしています。

教員は、児童指導を円滑に即日に対応できるようになっています。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

上板町立松島小学校（徳島県）

【取組内容】 クラウド環境を用いた職員会・情報共有

時間と場所に縛られない働き方

職員会での提案資料や共有資料、連絡事項に関しては、グループチャット機能を使ってPDFなどで共有しています。データ化することで、各教員はタブレットからいつでも何度でも確認することができ、出張時の伝達業務の減少や印刷時間・コストの削減にもつながっています。

クラウド環境の活用による即時共有

1月 生活アンケート（3～6年生用）

B U I O T

①～④については、おてはまるところにチェックしてください。
⑤～⑥については、自由に書いてください。

このフォームでは、すべての回答者からのメールが自動的に収集されます。設定を変更

自分のクラスをえらんでください。*

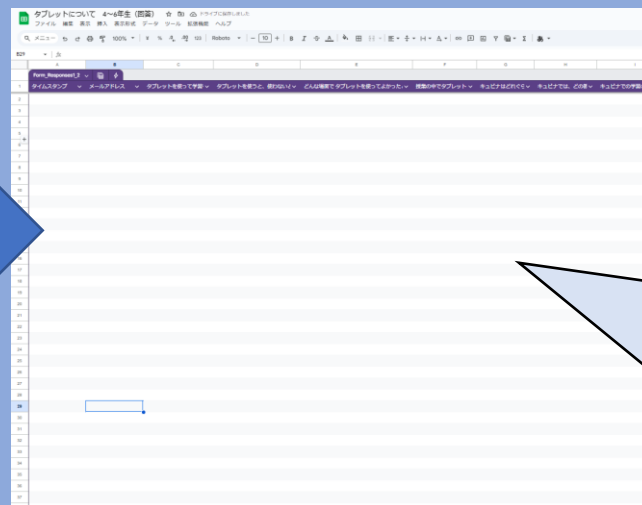
- ☐ 3年
- ☐ 4年
- ☐ 5-1
- ☐ 5-2
- ☐ 6-1
- ☐ 6-2

名前を書いてください。*

記述式テキスト（短文回答）

① 学校生活は、楽しいですか。

- ☐ とても楽しい
- ☐ 楽しい
- ☐ 楽しくない



児童を対象にした「学校生活について」や「タブレットを用いた学習について」などのアンケートをアンケート作成ツールで作成し、クラウド環境の表計算ソフトで集計することで、即時に教員同士で共有することができ早期対応につながった。

[illegible]